

# 建廃協NEWS76号



## 共同購買先 視察に行ってきました

7月25日～26日にかけて建設廃棄物協同組合・処理システム委員会として、共同購買における既存の取引先である、ツネイシカムテックス株式会社および、そのグループ会社の東広商事株式会社の視察会を実施いたしました。

ツネイシカムテックスにつきましては、組合員の焼却系廃棄物を処分していただいておりますが、特徴的な点はアスベストすら溶融可能な施設を有し、焼却灰を溶融スラグとしてリサイクルすることが可能なこと、また敷地内に管理型処分場を有しているため、一貫した処理が可能なことです。その管理型処分場も残余量に限りがあることから、現在溶融スラグの生産量増強など、対応を進めているとのことで、これからも長いお取引が見込めそうです。



東広商事は鋳物砂の埋立処分から始まり、時流を見てセメントリサイクルにシフトしたところ、セメントメーカーより燃料代替廃棄物を集めるよう要望を受けたところから、現在の事業系廃プラスチックのサーマルリサイクルを営んでおります。またその経緯からセメントメーカーとの繋がりが深い業者です。

現在、輸出規制により廃プラスチック受入量も増加しているとのことでしたが、更に生産量を増やしたいとの意向から、建設系廃プラの取扱を始めたいとのことでした。機械設備についても連結した設備でありながらコンベアの正逆転の操作により、任意の生産工程(荷姿)を選択できるスペース確保のアイデアに優れた設備でした。

今回は梅雨の時期かつ台風が接近している中でありながら、雨に見舞われることもなく、「参加した組合員の行いが現れているのでは」などと、冗談を交えながらの和やかな雰囲気での視察会となりました。